

立花生徒会新聞

Trust通信

Trustの意味
「信頼」
お互いを信頼し
助け合う

第3号 平成27年
3月6日 金曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

一年間を振り返って

三年間は短かったですか？長かったですか？私達は在校生として一緒に過ごした時間はとても短く感じられました。入学したばかりのころは、知らない校舎、違う学校だった友達に戸惑い、不安な気持ちでいっぱいだったのを三年生の皆さんは暖かく迎えてくださいました。そのおかげで気持ちが落ち着き、不安が楽しみに変わったのを思い出します。三年生はさまざまな面で私たちのお手本となり、いつも前に立って導いてくださいました。私たちはその差し伸べられた手をしっかりと掴んで付いていこうと思いはじめた頃を思い出します。

今月で、今年度が終わります。みなさんはどのような一年間を過ごされたでしょうか。一年生は入学してからの毎日が目まぐるしく過ぎていったと思います。初めのうちは慣れないことばかりで大変だったと思いますが、この一年間を過ごして慣れることができたと思います。二年生は初めての先輩がで、下級生との見本となるような生活を送ってきたことでしょうか。三年生の先輩方は最高学年となり、部活動や立花中学校の中心となってこられました。そして、今月十一日には、卒業を控えていらっしゃると思います。

卒業おめでとう ございます

三年生の皆さんは卒業したらそれぞれ違う道を行くわけですね。誰かの歩んだ道を行くのではなく、自分で切り開いていくのです。その道を歩いていく上で、はきかかと楽しいことばかりではないと思います。時には迷い、立ち止まってしまうこともあるかもしれません。そんなときは、立花中学校で過ごしたこの三年間を思い出して、みんなががんばったこと、辛かったこと、そして仲間と過ごしたこの中学校で学んだことを生かして乗り越えていってください。卒業おめでとうございます。

体育大会では、どんなときも諦めず、正々堂々と戦い、応援し、喜びを分かち合うその姿に、感動しました。組体操では一人一人の緊張感に、吉野の春では指先までの美しさに感動し、私たちも三年生の皆さんのようになりたいと強く思いました。文化発表会では、作品が細部まで表現されていて、それを見てとても美しいと

と思います。みなさんは字んたこと、感じたこと、反省点をしっかりと自分自身で振り返り、毎日の生活の中や校外学習などで生かしていきましょう。一度振り返ってみてください。そして、生かされたという人はこれからも自分自身でしっかりと振り返り、生かされたという人はこれから行う様々なことを見つけて、実行していきましょう。また、勉強や部活動などでも学んだら、反省点を見つけることはできます。しかし、それらのことをどのように生かすか、どのように生かすかは自分次第です。ですからみなさんも、毎日の振り返りを大切にしていきましょう。

伝統を引き継ぐ

いよいよ卒業式一週間前となりました。一、二年生の皆さんはこの時期をどう過ごしていかれますか。それは悲しみや寂しさなど様々でしょう。しかし、いつまでも先輩方の面影を探しているわけにはいきません。なぜなら、私達は在校生はこの立花中学校の伝統を引き継いでいかなければならないからです。では一体、伝統を引き継ぐとはどういうことでしょうか。私はこの立花中学校の雰囲気が好きです。先輩が後輩に上級生としての見本を見せようとしているこの雰囲気、です。「いきなり何の話？」と思うかもしれませんが、伝統を引き継ぐというのはこの雰囲気に関係しているのだと思います。それは、私達が入学してまだ間もない頃です。新しい環境で初めての本格的な部活動や委員会活動。入ったものの、まだ不安がたかさんある時期でした。そんな時、支えてくれたのは多くの先輩方でした。部活動では、全然上手く出来

すから皆さん、この伝統を引き継ぎ、これからも頑張ってください。一年生の皆さんは四月から初めての先輩がでます。いきなり先輩として立派に、なんて言われてもどうしたらいいのか悩んでしまうかもしれません。そんな時は、自分が今まで先輩方にしてもらったことを思い出してみてください。そうしたら、きっと答えを出せるのではないのでしょうか。

春休みについて

もう少して春休みが始まります。春休みは、次の学年にあがる準備期間といっても過言ではありません。四月になると、もう三年生のみなさんはこの立花中学校での三年間を終え、これから自分の夢への第一歩を踏み出していくわけです。二年生のみなさんは最高学年となり、立花中学校の顔となります。そして、一年生のみなさんは二年生になり、初めての先輩がでます。ですから、在校生のみなさんは新しい一年生の手本となるような行動をしていきましょう。ですが春休

みという点もあり、気がゆるみがちです。今の新学期に向けて心身ともに引き締めましょう。まず最初は、普段の「生活態度」から見直していきましょう。新しい学年になったからといって、していいこと、してはいけないことは変わりません。例えばみなさんの中で、学校に不必要なものを持ってきている人や、もの貸し借りをしていない人はいますか。自分で自覚している人は、初心に戻ってきちんと見直しましょう。そして、不必要なものを持ってきて

る人、ものの貸し借りをしている人を見た人は、その人にきちんと注意をしてあげましょう。見て見ぬ振りだけの傍観者はしてはいけないことをしている人と同じです。ですから、決して傍観者にはならないように新学期から改めていきましょう。

次に「風紀面(身だしなみ)」です。風紀は中学生に欠かせないことです。といっても中学生だけではなく、社会人になっても、身だしなみを整えることはとても大切なことです。ですが、「〇〇式だから」というように、式などのときだけ身だしなみを整えるのではなく、普段から風紀面に気にかけておくようにしましょう。

最後に「時間」です。四月は行事がたくさん詰まっています。なので、休み時間や休日などの時間配分をきちんと考えて、行動していかねければなりません。なので、春休みも同様、新学期は時間を有効に使えるよう工夫しましょう。この三つのことも頭に入れて、勉強に遊び、有意義な春休みを過ごしましょう。

編集後記

三年生の先輩方、卒業おめでとうございます。高校でも頑張ってください。今までもありがとうございしました。(田中・大木・勝本・白瀬)